

経営の改善、見直しから始めた “前向き思考”の店づくり

ファッションハウス テル

時代の変化に押され、
悩みを抱えていた洋品店。
どんな手立てを打って、生まれ変わったのか。

この秋、移転リニューアル

秋田市広面で38年間、夫婦二人三脚で洋品店を営んできたファッションハウステルの佐々木憲男代表と、妻の洋子さん。つい1カ月前の11月に店舗を移転し、リニューアルオープンを迎えた。「思いきって引っ越して気持ちがスッキリした」と晴れ晴れとした表情の洋子さん。「最初は、移転したらお客様が離れてしまうんじゃないかと不安があった。でも大丈夫でしたね」。そう話している間にも「こんにちは～」とお客様が1人、2人と、店に来る。服を見立てながら会話が弾み、笑顔がこぼれる。

経営を見直し、成果を上げる

開業当時の70年代後半、世は高度経済成長期を経て、景気が上り調子のまっただ中。スーツやワンピースなどの高額商品が飛ぶように売れた。それから38年、社会は変わり、売れ筋やお客様のニーズも変化した。

「売り上げは年々厳しくなっていた」と佐々木代表。客単価の減少、お客様の高齢化、多額の経費など要因はさまざまあった。そうした中、経営相談をしていた信用組合の職員の紹介で利用したのが、当センター内の「秋田県よろず支援拠点」。専門スタッフのアドバイスのもと、さっそく経営改善に乗り出した。まずは、経費の削減に取り組んだ。4社あった仕入れ先は2社に絞り、原価を低減。さらに、売り場を持って余っていた店舗から移転することで面積を縮小し、家賃をそれまでの半分以下

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/
秋田県よろず支援拠点(018-860-5605)まで。



新しい店舗は、秋田大学付属病院交差点角にある。病院や薬局、コンビニに近く、人通りが見込める立地だ。広い敷地の駐車場もあり、「良い物件がみつかって良かった」と佐々木代表。

に抑えた。また、試算表の作成や確定申告事務は商工会議所を利用。今までは行っていなかった資金繰り表の作成にも取り組むことにもした。

より一層愛される店を目指して

「それまでは帳簿管理も仕入れも経験と勘でこなしていた。でも景気が厳しくなると、それだけでは立ち行かない。実は最初は専門家に相談すること自体、緊張していた。ところがスタッフの方にお会いしたら、話やすくてざっくばらんに相談できてホッとして…。実際、こうしていろいろ前向きに改善できた。相談して良かった」と笑顔の佐々木代表。店舗は狭くなったが、意外にもお客様には好評だ。「我々とお客様との距離が近く、目がよく届くようになったので会話がしやすい」と洋子さん。気兼ねなく、和気あいあいと服選びや試着が楽しめる店として愛されている。今後もよろず支援拠点に顧客向けイベントの開催や新規顧客の開拓について相談をする予定だ。夫婦二人三脚、新たに踏み出した一歩は、希望に包まれている。



売り場面積は縮小したが、商品数は以前と同じ。カジュアルからフォーマルまで幅広い衣料をそろえる。



移転後は「リニューアルオープンセール」を開催。常連を中心に、さっそくお客様が来店した。



あれこれ相談をしたり、会話をしたりしながら、気兼ねなく買い物できる雰囲気がお客様にうけている。

ファッションハウス テル

〒010-0041
秋田県秋田市広面字蓮沼85-1
Tel.018-835-9884
営業時間：10:00～19:00